



ARCTIC OCEAN

East Siberian Sea

Laptev Sea

Bering Sea

日露共同で行なう教育プログラム開発プログラム



# 極東・北極圏における 持続的発展を未来へつなぐ

RJE3とは?

極東・北極圏を対象として、本学とロシアの大学間において蓄積された環境、自然災害、民族・言語・文化等のフィールド共同研究実績およびネットワークに基づき、極東ロシアの基幹5大学と北海道大学の複数大学院、北海道や極東ロシアの自治体、産業界の代表などで構成される日露専門家育成コンソーシアム "East Russia-Japan Expert Education Consortium" (以下RJE3コンソーシアム) を構築し、極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家集団を育成する取組です。

Central Siberian Plat.

Yakutsk

Sea of Okhotsk

R U S S I A

Yuzhno-Sakhalinsk

Khabarovsk

Sapporo

Irkutsk

Ulan Ude

Chita

Manzhouli

Tynda

Amur

Blagoveshchensk

Vladivostok

Nakhodka

Sea of Japan

JAPAN

Tokyo

Osaka

CHINA



極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する人材を育成すべく、数十年の共同研究実績を有する北海道大学とロシアの大学が協力して教育プログラムを開発します。本シンポジウムでは、環境評価、文化的多様性、土壌と生産、地域資源開発、防災管理に係る文理融合プログラムについて議論します。

特にこれまで日露の交流に関わってきた様々な立場の方にご登壇いただき、これまでの日露交流の状況、当教育プログラムから今後の日露関係に期待できることなどをご議論いただきます。また、パネルディスカッション第二部では、学生との質疑応答に参加していただき、将来のよりよい関係についてビジョンを共有します。

開催日: **2014年12月19日(金)**  
**13:00~17:15 (開場/11:30)**

会場: **北海道大学フロンティア応用科学研究棟  
レクチャーホール**

参加申し込みはウェブサイトから行えます。締切りは**12月18日(木)**です。

事前に参加人数を把握するため、

できるだけこちらからお申し込ただけだと思いますが、

当日直接会場にお越しいただいても結構です

参加申し込みは  
こちらから



# プログラム

## ■ ご挨拶

13:00

北海道大学総長

山口 佳三



## ■ 基調講演 1

13:05 ~ 13:35

「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する  
専門家育成プログラム」

(East Russia -Japan Expert Education Program (RJE3 program))

北海道大学副学長・RJE3プログラム事業推進責任者

望月 恒子



## ■ 基調講演 2

13:40 ~ 14:10

「ロシア太平洋地域：長期的視点で見た開発、  
国際共同のための地理学的・地政学的な強みと課題」

ロシア科学アカデミー極東支部太平洋地理学研究所長

バクラーノフ、ピョートル・ヤーコヴレヴィチ



## ■ パネルディスカッション

14:20 ~ 17:15

途中10分の休憩あり

【第一部】 RJE3に関するパネリスト5名が、シンポジウムテーマについて  
「行政・経済界の交流の現状と未来像」「大学交流を通じた人材育成」の観点から、  
各人15分程度のコメント。

【第二部】 北大に留学中(留学予定)のロシア人学生2名及びロシアに留学経験がある(留学  
予定の)北大日本人学生2名による簡単な研究紹介と、パネリストとの対談。

〈司会〉 北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 加藤 博文 教授

〈パネリスト〉 北海道庁 経済部経営支援局 国際経済室 小玉 俊宏 室長  
北海道銀行 国際部ロシア室 中川 文敏 調査役  
在札幌サハリン州代表部 クトヴォイ、アンドレイ 代表  
北海道大学 工学研究院 瀬戸口 剛 教授  
北東連邦大学 プリシヤズニ、ミハイル 副学長

岩波 連 (北海道大学大学院理学院:動物考古学 博士後期課程2年)

岩淵 真由子 (北海道大学大学院文学研究科:日本史 修士課程1年)

パンコフ、オレグ (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院:  
医療ツーリズム 研究生、サハリン国立大学出身)

ラザレワ、アニシア (北東連邦大学経済学研究科:経済 修士2年相当)